地域医療支援病院 富山市民病院

れんけいと支援

No.186
2019.10月号

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face, Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1／Tel: 076 (422) 1112㈹ http://www.tch.toyama.toyama.jp／発行日 2019年10月

白内障について

眼科　山田　芳博

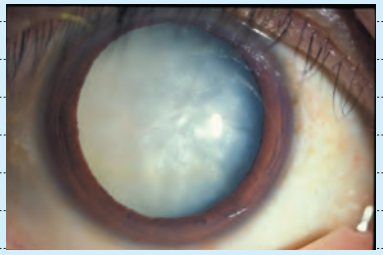
水晶体が濁る病気で、加齢に伴うことが最も多いのですが、若年者でもしばしばみられ、先天性や外傷、眼疾患やアトピーに続発したもの、ステロイドなどの薬剤性、放射線などが原因として挙げられます。濁りに伴い、水晶体で光が散乱するために霞みやまぶしさ、物が二重に見えるなどの症状が起こります。

初期の白内障は点眼薬で進行を遅らせることができる可能性がありますが、濁りを治すことはできないため、進行した白内障では濁った水晶体を手術で取り除き、眼内レンズを挿入します。手術中の安静が保たれない方は全身麻酔で施行しますが、ほとんどの方は局所麻酔にて15分ほどで終了します。

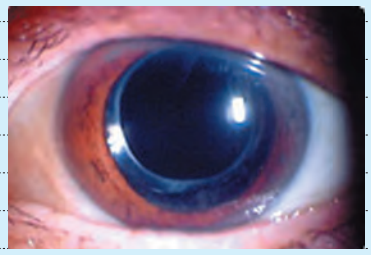
最近では視覚の質を向上させるために、眼内レンズも改良され、以前からの単焦点眼内レンズ（ピントの合う位置が1箇所のみ）だけでなく、乱視矯正ができる眼内レンズや、保険適応外ではありますが、多焦点や調節眼内レンズ（近くも遠くも見える）もあり生活スタイルに応じて選択できるようになっています。

手術関連の器具や器械の進歩に伴い合併症も少なくなり、日帰りでの加療が主流ですが、当院ではご高齢で他疾患を伴う方が多く片眼では1泊2日、両眼では3泊4日での加療をしております。

白内障は短時間の加療での根治が可能であるだけでなく、劇的に視力やADLが改善することもありますので生活等に不便を感じる方には早めに眼科への受診を勧めていただけましたら幸いです。



進行した白内障（術前）



眼内レンズ挿入眼（術後）

予告 令和元年度地域医療部 **担当者交流会・講演会のお知らせ**（富山まちなか病院共催）

日時：令和元年12月13日（金）16：00～19：00
場所：富山市民病院　3階講堂
《担当者交流会》16：00～17：00　グループワーク　《講演会》17：30～19：00
○テーマ　(仮)在宅医療へ安心をつなぐ病院を目指す－高齢療養者が安心して暮らせる地域づくり－
○講　師　社会医療法人財団　慈泉会　相澤東病院　看護部長　武井 純子先生

11月分 研修・講演・勉強会のご案内

1．地域連携症例検討会

日 時：11月12日（火）　19：00〜20：15　場所：当院３階　講堂

1）症例検討（２例）

①『咳嗽失神の症例』

循環器内科　寺崎　敏郎

②『最新型ステントグラフトで治療した下肢閉塞性動脈硬化症の２例』　血管外科　武内　克憲

2）ミニレクチャー：**「医療用麻薬について－各薬剤の特徴と緩和ケア内科への紹介方法－」**

緩和ケア内科　舩木　康二郎

緩和ケアが普及し、緩和ケア研修会や緩和医療学会のガイドラインなどがん疼痛への対応を学ぶ機会が増えてきていると思います。その影響もあり外来患者・在宅療養中の患者でも医療用麻薬の使用患者が増えてきています。

ここ数年で、新規医療用麻薬も増え疼痛緩和に使用する際の選択肢が増えてきており、それらの薬にどのような特徴がありどのように使えばよいのか良くわからないという話や、緩和ケア内科に紹介したいと考えてもどのタイミングで紹介すればよいかわからない、という話をよく聞きます。

今回のミニレクチャーでは、医療用麻薬について、各薬剤の特徴や実際の使用方法についての話と、富山市民病院緩和ケア内科への紹介方法について話をしたいと思います。

予告

地域連携症例検討会（拡大版）

※12月は、参加申込みが必要です。詳しくは、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

（TEL　076-422-1112代表　内線2989）

日時：12月10日（火）　19：00〜21：00　当院3階　講堂

内容：①症例検討　2例　（担当）外科・産婦人科

②ミニレクチャー　2例　（担当）内分泌代謝内科・脳神経外科

2．内科CPC

日時：11月12日（火）17：30〜

場所：医局カンファレンス

3．緩和医療部会学習会

（1）日時：11月5日（火）17：45〜19：15

場所：地域医療研修センター

内容：〜テレビ会議システムを利用した ライフステージ事例検討会〜

（2）日時：11月12日（火）17：30〜18：15

場所：看護外来

○テーマ：乳がん患者と家族へのケア

○講　師：乳がん看護認定看護師　石倉　誠子

4．医療機器安全管理研修会

（1）日時：①11月13日（水）12：15〜12：45

②11月14日（木）17：45〜18：15

場所：①301会議室（旧集団指導室）

②看護外来

○テーマ：事故事例から学ぼう酸素ボンベ（医療ガス）の注意点

○講　師：臨床工学技士　松下　翔悟

（2）日時：①11月20日（水）12：15〜12：45

②11月22日（金）17：45〜18：15

場所：①301会議室（旧集団指導室）

②看護外来

○テーマ：新しい経腸栄養ポンプの使い方と安全管理

○講　師：臨床工学技士　熊谷　智叡

5．糖尿病研究会定例学習会　糖尿病デイイベント

日時：11月21日（木）17：45〜18：30

場所：看護外来

○テーマ：糖尿病と足の意外な関係について 知っていますか？

○講　師：内分泌代謝内科医師　家城　恭彦

6．感染予防対策学習会

（1）日時：11月11日（月）17：30〜18：05

場所：講堂

○テーマ：わかりやすい感染対策

○講　師：当院感染防止対策室　医師 大田　悟

（2）日時：11月18日（月）　17：30〜19：00

場所：講堂

○テーマ：(仮)クロストリディオイデス・ディフィシル診断・治療・予防について

○講　師：金沢医科大学病院 感染症科教授 飯沼　由嗣 先生

7．接遇力向上研修会　特別講演

日時：11月26日（火）　17：30〜19：00

場所：講堂

○テーマ：言葉の大切さ

○講　師：道文心理研究所所長　坂本　美奈子先生

8．褥瘡セミナー

日時：11月22日（金）　17：30〜18：30

場所：講堂

○テーマ：シームレスな褥瘡ケア 〜病院・在宅の立場で考えよう〜

○講　師：訪問看護ステーショングランシェル　管理者 特定認定看護師　渡邊　真紀先生

9．NST学習会

日時：11月25日（月）17：30〜19：00

場所：講堂

○テーマ：①呼吸器疾患(COPD・誤嚥性肺炎)の栄養管理

②リハビリ栄養

○講　師：①呼吸器内科医師　野村　智

②リハビリテーション科医師　吉田　園代

10．看護研修

《衛星研修S-QUE　Eナース》※事前の予約が必要です。

○テーマ：認知症患者のがんのケア

視聴期間：11月12日〜12月6日

○テーマ：放射線治療での看護の関わり

視聴期間：11月26日〜12月20日

※《衛星研修S-QUEシリーズ》は、予約申込みが必要です。視聴可能日は、月・木（祝日を除く）の14時〜16時の間で予約制となっていますので視聴を希望される方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

（TEL076-422-1112代表　内線2989）

薬剤部のご紹介

薬剤部　澤武　功純

術前薬剤師外来を開始しました。

当院薬剤科では、本年7月より、手術予定の患者に対し、入院前に服薬状況を確認する術前薬剤師外来を開始しました。薬剤の中には、抗凝固薬など、術中の出血リスクを高める薬剤があります。患者の持参薬にそのような薬剤が含まれていないかをチェックし、必要に応じて服薬を中止することは周術期管理の必須事項になります。当院では、これまで医師・看護師が入院前に外来で服薬状況を確認したうえで、休薬指導を行ってきましたが、ジェネリック医薬品の普及により薬剤の種類が大幅に増えたこと、高齢化社会に伴い多剤投与の患者が増加したことなどから、入院前に薬剤師の目で持参薬をチェックし、休薬漏れを予防することが、今後、医療安全の観点からも重要になると考えています。

現在、コンスタントに予定手術が入る外科系の患者を対象に開始しており、予約が入れば、術前に中止すべき薬剤が無いかを評価し、中止指示が出ていない薬剤があれば主治医に確認します。面談では、持参薬の服薬状況を患者と一緒に確認し、中止薬があった場合には、中止薬剤名を確認するとともに、中止理由、休薬開始時期、休薬しなかった場合のリスクなどを説明します。

また、近年の健康志向の高まりに伴い、健康食品やサプリメントも多様化が進んでいます。これらの中には、DHAやEPA、ニンニク成分など血液サラサラ効果が謳われているものもあるため、面談でしっかり確認し、主治医へ情報提供していく必要があります。今後は、対象診療科を徐々に拡大し、周術期における医薬品の適正使用の推進に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

医師不在のお知らせ　11月

※外来担当日の休診のみ掲載

科名	医師名	不在日
内科	清川	11日、22日
	寺崎敏	8日
	打越	7日
	野村智	13日、15日
	清水	28日、29日
	水野	22日、25日
	米山	20日
	山口	22日
	小川	15日、22日
外科・消化器外科・乳腺外科	藤村	14日、21日
	吉川	13日、14日、15日、21日、22日
	寺田	14日
	佐々木	15日
	竹下	25日
呼吸器・血管外科	山本	7日
脳神経外科	山野	15日
	毛利	22日
整形外科・関節再建外科	澤口	1日、8日、22日、26日、29日
	五嶋	21日
	重本	8日
麻酔科	松浦	8日
精神科	長谷川雄	1日
形成外科	宮下	12日、13日、14日、15日
皮膚科	野村	27日
	北野	15日　18日
泌尿器科	高瀬	21日、22日
産婦人科	齋藤真	12日、13日、14日、15日
耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	1日、6日、11日
歯科口腔外科	寺島	1日、13日、14日、15日
	吉田	21日、22日

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL　076-422-1112（代）内線2168

編集後記

朝夕がめっきり肌寒くなりました。自宅のキッチンには裏庭で採れた柿、いただき物の栗、土がついたままのさつま芋など秋の味覚が日々増えています。

さて、10月22日は「即位礼正殿の儀」が執り行われました。新天皇が天皇になったことを内外に宣言する日とのこと。結婚式ならば5月1日が挙式で10月22日が披露宴と例えられていました。

新天皇の「令和」は「希望を切り開く」という意味もあります。医療・介護・福祉の連携と支援で患者さんの希望が咲く時代になって欲しいと、栗の皮をむきながら願う秋です。

ふれあい地域医療センター　砂原　貴代美

作：病院ボランティア
篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。
送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL　076（422）1114／FAX　076（422）1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ http://www.tch.toyama.toyama.jp/　がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp